

○倉敷市国民宿舎条例施行規則

平成10年12月24日

規則第55号

改正 平成15年12月26日規則第90号

平成24年3月21日規則第14号

倉敷市観光施設条例施行規則（昭和50年倉敷市規則第19号）の全部を改正する。

（趣旨）

第1条 この規則は、倉敷市国民宿舎条例（平成10年倉敷市条例第52号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

（予約金）

第2条 条例第9条第1項の規定により徴収することができる予約金の額は、次のとおりとする。

（1） 宿泊に係る予約金の額は、利用者1人1泊当たり1,000円以内とする。

（2） 結婚式場の予約金の額は、1組当たり5,000円とする。

2 前項第1号の予約金については、利用者が利用日を除いて7日前までに利用の取消しを申し出た場合は、既に納付した予約金のうち必要経費を差し引いた額を、還付することができる。

（国民宿舎の定員）

第3条 倉敷市国民宿舎良寛荘の定員は、106人とする。

（利用の制限）

第4条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、立入りを拒み、又は退去を命じることができる。

（1） 他人に危害を及ぼし、又は迷惑をかけるおそれのある物品を携行する者

（2） 指定管理者の承認なくして飲食物その他の物品の陳列又は販売を行う者

（3） 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認める者

（4） 前3号に掲げる者のほか、国民宿舎の管理上支障があると認める者

（利用者の遵守事項）

第5条 国民宿舎の利用者は、次の事項を遵守するとともに、指定管理者の指示に従い、秩序を保持しなければならない。

(1) 午後10時以後は出入りしないこと。ただし、特別の事情がある場合は、この限りでない。

(2) 施設、備品等を損傷しないこと。

(3) 火の元に注意すること。

(駐車場内の賠償責任)

第6条 駐車場は、利用者の責任において利用するものとし、駐車場内での自動車事故等については、本市及び指定管理者はその責めを負わない。

(利用料金の減免)

第7条 国民宿舎の提供する飲食物を伴う会議等に利用する場合は、条例別表第3に掲げる貸室に係る利用料金を条例第12条の規定により免除することができる。

2 障害者（障害者基本法（昭和45年法律第84号）第2条に規定する者であつて、関係法令により交付された手帳を所持するものをいう。）又は30人以上の団体が利用する場合は、条例別表第1に掲げる施設の宿泊に係る利用料金を10パーセントまで条例第12条の規定により減額することができる。

(その他)

第8条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則（平成15年12月26日規則第90号）

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成24年3月21日規則第14号）

この規則は、平成24年4月1日から施行する。